

ニ ュ ー ス レ タ ー

明治大学史



Vol.4
31. MAR. 2008

Center for the History of Meiji University Newsletter



平出修関係資料調査。上越市・平出墓所前で塩浦彰氏、地元顕彰会の方々と（2007年11月1日）

ニュース・ヘッドライン

特集 2007年度調査報告

- I 創業者及び創立期関係者 / II 三木武夫関係 /
- III 人権派弁護士関係 / IV 学内資料関係

センター業務記録 2007年7月~2008年3月

新聞・雑誌等掲載記事一覧

大学史資料センター刊行物案内

特集 2007年度調査報告

センターでは全国で明治大学史に関する様々な調査・資料収集活動を行っています。ここで蓄積した資料を基に、展覧会を開催したり、成果物などを刊行しています。

今回は2007年度に実施されたおもな調査をご紹介します。

I 創立者及び創立期関係者

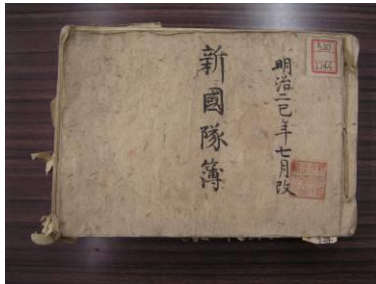
- ①岸本辰雄関係資料調査〈2007年5月15日（火）～17日（木）鳥取県立博物館、鳥取市歴史博物館、鳥取市史編纂室、景福寺（鳥取市新品治町）〉



明治大学創立者の一人、岸本辰雄（1852-1912）は、鳥取藩士であった若き日に鳥取藩農兵隊の「新国隊」に参加していました。

今回の調査では、この新国隊に関する調査を実施しました。岸本と同じく新国隊のメンバーであった中井範五郎、塩川孝次、吉岡平之進に関する資料及び旧士族墓碑調査（景福寺、中井範五郎等）を実施し、併せて鳥取市史関係者と各種の情報交換を行いました。

なお、岸本辰雄と新国隊については阿



部裕樹「新国隊の動向と岸本辰雄」（『大学史資料センターグループ報告』第29集所収）に詳説したので、興味のある向きはご参照下さい。

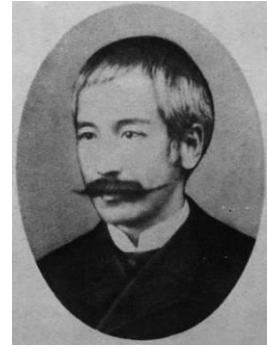
（阿部裕樹）

*カッコ内は調査者

- ②光明寺三郎関係資料調査〈2007年7月10日（月）浄土真宗大井山光福寺（品川区大井）〉

「決闘論無罪論」などの所説で知られる光明（妙）寺三郎（1849-1893）は、創立者の盟友として初期明治法律学校を支えた人物です。周防（山口県）に生まれた光妙寺は1871年フランスに渡り、法律を学びながら、同地に留学していた西園寺公望や創立者たちと親しく交わりまし

た。帰国後「自由新聞」記者・太政官勤務をへて、大審院検事として活動するかたわら明治法律学校でも教鞭を執りました。



本調査では、光妙寺が没後埋葬された品川区大井町の光福寺を訪ねました。光福寺は大井町の由来とされている「大井の井」や区内最古のイチョウが境内にある古刹です。数年前に遺族が光妙寺の郷里である山口に墓所を



移したため、現在は墓碑等はありません。

今後センターでは創立者たちを支えた人物達について、より調査を深めていきたいと思えます。

*なお、フランス留学時代の光妙寺については村上一博「光明寺三郎のバリ大学在籍カード」（『明治大学人権派弁護士研究 布施辰治研究』（『大学史紀要』第12号所収）をご覧下さい。

（鈴木秀幸・村松玄太）

- ③光明寺三郎関係資料調査〈2007年11月15日（木）～17日（土）山口県萩市・同山口市〉

萩博物館・山口県立文書館にて維新时期光明寺三郎関係資料の調査を行い、関係故地巡見を行いました。

（渡辺隆喜）

II 三木武夫関係

①三木睦子氏聞き取り調査〈2007 年 6 月 14 日～三木武夫記念館（渋谷区南平台町）〉

センターでは 2004 年に三木睦子氏から三木武夫元首相関係資料の寄贈を受けたことを契機として、継続的に三木元首相の調査を



施しています（詳細は「三木武夫元首相関係資料の整理—研究推進の基礎作業」『明治』vol.38 参照）。センター内に置かれた三木武夫研究会（研究代表・小西徳應

政治経済学部教授）はその一環として、三木睦子氏への聞き取り調査を実施しています。

2007 年からおよそ月一回のペースで行っている聞き取りは下記のスケジュールで進められています。

第 1 回 2007 年 6 月 14 日（木）

睦子氏の生い立ち・三木武夫との
出会い（於三木武夫記念館・以下同）

第 2 回 7 月 12 日（木）

初当選・戦中の三木武夫

第 3 回 9 月 27 日（木）

敗戦直後

第 4 回 10 月 25 日（木）

石橋・岸・池田内閣時代



第 5 回 11 月 29 日（木）

佐藤内閣時代

第 6 回 2008 年 1 月 31 日（木）

田中内閣時代・椎名裁定

第 7 回 2 月 28 日（木）

初期政権運営

研究会では今年度も引き続き睦子氏や関係者への聞き取りに加え、現地調査等を進めていく予定です。

（村松玄太）

III 人権派弁護士関係

①布施辰治関係資料調査〈2007 年 4 月 7 日（土）～9 日（月）石巻文化センター〉

センター共同研究プロジェクトとして実施されている人権派弁護士研究会（研究代表・山泉進法学部教授）のメンバーは、石巻文化センターで所蔵している布施辰治関係文書の閲覧・複写作業を実施しました。阿部裕樹は、布施の個人雑誌のひとつである『生活運動』のバックナンバーすべてを閲覧・複写する作業を行いました（ただし、第 6 巻 1～6 号は、前回調査の際に村上一博が複写済み）。これは『布施辰治著作集』（ゆまに書房刊）に収録されました。

村上は、布施関わった数多くの小作訴訟のうち、関係文書の残存がもっとも良好な「新潟県小作争議関係」事件（収蔵品目録 2-951～1301）を閲覧、1210～1273 をデジカメ撮影しました。

山泉は、布施関係書簡類の閲覧整理を行い、主として、山崎今朝弥・明治法律学校から布施宛の書簡を収集・複写しました。

（山泉進・村上一博・阿部裕樹）

②布施辰治関係資料調査〈2007 年 7 月 27 日（金）～29 日（日）石巻文化センター等〉

本調査では、人権派弁護士研究会のメンバーで、主として『布施辰治著作集』底本の複写作業にあたりました。



そのほか、布施の菩提寺である東雲寺など関係故地を巡見しました。

(山泉進・村上一博・長沼秀明・飯澤文夫・中村正也・阿部裕樹)

③布施辰治関係資料調査〈2007年10月19日

(金)～21日(日) 岩手大学附属図書館・盛岡市先人記念館・岩手県立図書館・盛岡市中央公民館郷土資料室(いずれも岩手県盛岡市内)〉

19日は岩手大学附属図書館にて同館「小繫文庫」に所蔵されている入会関係裁判文書から、布施辰治が関わった2件(閲覧許可が出たもの)の裁判記録を閲覧・デジカメ撮影を行いました。翌20日は盛岡市先人記念館にて、尾佐竹猛が先鞭をつけた明治初年の尾去沢銅山事件の記録である村井茂兵衛関係文書から、裁判関係書類数点を閲覧・デジカメ撮影し、文献閲覧室で、同館所蔵の文献資料を閲覧しました。

21日は岩手県立図書館にて明治23年1月～7月(以下欠)の『岩手日日新聞』および同年9月～10月(以下未済)の『岩手公報』のマイクロフィルムを閲覧し、旧民商法にかかわる記事を複写しました。同日午後からは14時～16時盛岡市中央公民館郷土資料室南部藩時代の藩政文書、特に御用商人であった村井家(鍵屋)関係資料を閲覧しました。

(村上一博)

④平出修関係資料調査〈2007年7月31日(火)～8月1日(水)新潟県新潟市内〉

平出修(1878～1914)は明治法律学校を1903年に卒業後、弁護士として活躍しました。なかでも大逆事件(1910年)の弁護にあたったことはよく知られています。また平出は歌人

としても著名でした。明治法律学校在学中から雑誌『明星』などに多くの短歌や評論を発表し、『新派和歌評論』といった著書も残しています。



センターでは運営委員会による夏季合同合宿として、平出の生地である新潟市にて故地巡見調査をしました。31日に地元の平出研究者である塩浦彰氏の案内により平出修誕生碑、観音堂、歌碑などを巡見し、そののち同氏より平出についてお話をうかがいました。翌1日には北方文化博物館分館、新潟市歴史博物館を見学しました。



(渡辺隆喜・別府昭郎・山泉進・吉田悦志・村上一博・秋谷紀男・佐藤喜代治・飯澤文夫・鈴木秀幸・木村厚子・阿部裕樹)

⑤平出修関係資料調査〈2007年11月1日(木)～2日(金)平出修旧家、性宗寺、上越市公文書館準備室、上越市立高田図書館(いずれも新潟県上越市)〉

本来④の調査で平出の旧家などがある上越市を巡見する予定だったのですが、中越沖地震の影響により、調査を延期せざるを得ませんでした。本調査は延期となった巡見を実施したものです。合同合宿に引き続き、塩浦彰氏に案内等をお願いしました。まず地元顕彰会の方々とは

もに平出修旧家巡見後、性宗寺（上越市寺町）にある平出墓所を調査しました。その後、上越市公文書館準備室、上越市立高田図書館（上越市本城町）にて関係資料調査を行い、平出とその周辺に関して相当量の資料があることを確認しました。

（渡辺隆喜・村上一博・阿部裕樹）

⑤松谷與二郎関係資料調査〈2007 年 7 月 4 日（水）～6 日（金）金沢市玉川図書館・同近世史料館・承証寺（法華宗本門流）石川県立図書館（以上、石川県金沢市）七尾市史教育委員会文化財課市史編さん室・七尾市立図書館（以上、同七尾市）〉



松谷與二郎（1880-1937）は布施辰治や山崎今朝弥（1877-1954）と同じく、人権派弁護士として活躍した人物です。松谷は 1903 年に明治法律学校を卒業後弁護士となり、自由法曹団のメンバーとして各種労働・小作争議の弁護にあたりました。また虎ノ門事件（1923 年）など無政府主義者の弁護をしたことでも知られています。昭和期には無産政党的の代議士として活動しました。童話作家・松谷みよ子氏の父親にあたります。

今回の調査では、松谷が生まれた石川県の関係故地調査を行いました。4・5 日の両日は金沢市玉川図書館・同近世史料館にて、石川県郷土史や松谷の生家である田中家の関係資料を調査しました。とくに金沢藩士だった田中家について知るため、先祖由緒並一類附帳などの家譜などを閲覧・複写しました。ほか田中家菩提寺である承証寺にて過去帳及び墓所調査を実施しました。

七尾は松谷が幼少期を過ごした地です。6 日

には七尾市史教育委員会文化財課市史編さん室にて、関係地域史資料類の閲覧を行いました。また同編さん室の和田学氏から、七尾の歴史についての概要を伺いました。ほか七尾市立図書館でも関係地域史の閲覧・複写をしました。松谷の通った高等科鹿島小学校男子部（現七尾市立小丸山小学校）にも資料の照会を行いました。（村松玄太）

IV 学内資料関係

当センターでは従来から「地方」「校友」を調査の主要な柱に掲げていました。いままでご紹介してきた調査は学外資料を中心としたものです。

他方で近年強く叫ばれているようになってきた情報公開や非現用文書一括管理の潮流への対応も進め、学内資料の調査・収集も積極的に行っています。

2007 年度は、広報課・財務課・学生支援事務室・入学センター事務室、図書館事務室、研究・知財事務室、明治高中事務室等から多数の資料が移管されました。センターでは必要な資料を選別後、目録を作成して保存し、将来の利用に備えています。

（大学史資料センター）



情報・資料のご提供について(お願い)

明治大学史に関する資料をひろく収集しております。どのようなことでも結構ですので、センター事務室(03-3296-4329・4085)までお気軽に御連絡ください。

頂いた情報・資料は整理して永く保存し、将来の明治大学史のために活用します。

- 秋谷紀男「同 81 明治大学野球部リーグ戦初優勝——その立役者たちと湯浅禎夫」同 No.11 2007年7月
- 吉田悦志「同 82 明治を愛した教壇文学者——『海潮音』の上田敏」同 No.12 2007年8月
- 渡辺隆喜「同 83 三木武夫の世界遊説紀行——わが国雄弁界の嚆矢」同 No.13 2007年10月
- 山泉 進「同 84 明大人権派弁護士の系譜」同 No.14 2007年11月
- 村上一博「同 85 井上正一（日本人初の仏国法学博士）の故郷を訪ねて」No.15 2008年12月
- 別府昭郎「同 86 言葉の魔術師 青木一雄」No.16 2008年2月

2 紹介記事

- 御厨貴「尾佐竹猛研究 明治大学史資料センター編 “異端、判事の全貌” 『読売新聞』2007年11月11日付
- 牛米努「明治大学史資料センター編『尾佐竹猛研究』 『明治大学広報』2008年第593号 2008年3月1日付
- 太田卓男「潮音 蛇歴研（蛇田の歴史研究）ヘビレキケン」 『石巻日日新聞』2008年1月26日付
- 同 「潮音 蛇田の都市開発を見抜いていた先人」同、2008年2月23日付
- 同・ 「郷土が生んだ日本の偉人「布施辰治」」同、2008年3月22日付
- 落合弘樹「明治大学史資料センター編『尾佐竹猛研究』」 『駿台史学』第133号、2008年3月
- 牛米努「新刊紹介 『尾佐竹猛研究』」 『地方史研究』第332号、2008年4月

——大学史資料センター刊行物案内——

大学史紀要第12号 **布施辰治研究**(明治大学人権派弁護士研究Ⅰ A5判並製
222頁 頒価800円)



明治法律学校・明治大学を卒業し、人権派弁護士として活動した人々の事績を研究する明治大学人権派弁護士研究会の成果。第一弾は「日本のシンドララー」布施辰治(1880-1953)を特集。

〈目次〉明大人権派弁護士の系譜 / 布施辰治における芸娼妓契約無効論と公娼自廃の戦術 / 絶対死刑廃止論と布施辰治の〈思想原則〉 / 郷里・蛇田村の経済的・社会的状況と布施辰治 / 翻刻『辰治在京費控帳』 / 年譜 ほか

好評発売中!!

明治大学史資料センター監修 『布施辰治著作集』(全16巻 別巻1)
ゆまに書房刊(03-5296-0491)



第Ⅰ期 全8巻揃定価 192,150円(税込)

第Ⅱ期 全8巻揃定価 177,450円(税込)



好評既刊!! 明治大学史資料センター編 『尾佐竹猛研究』

日本経済評論社刊(03-3230-1661)

4,725円(税込)

*上記書籍の購入等のお問い合わせは出版社まで直接お願いいたします。

大学史資料センターグループ報告第29集 **大学史活動** (B5判並製 143頁 頒価500円)

特集 **大学史資料の様々な利用**

大学史とその資料を用いた社会連携・展示・情報公開など、多彩な活用の実践報告!!

〈目次〉第四・第五の大学史活動 / 広島大学文書館の社会連携活動 / 日本大学附属高等学校における「学祖 山田顕義」の講演について / 宮城浩蔵特別展記録 / 明治大学の規則・学則 / 大学史におけるサービス業務 / 新国隊の動向と岸本辰雄 / 開かれた大学史資料の利用をめぐって ほか



ニュースレター 明治大学史 vol.4 URL <http://www.meiji.ac.jp/history/>

発行日 2008年3月31日

編集・発行 明治大学史資料センターグループ

住所 101-8301 千代田区神田駿河台1-1

電話 03-3296-4329・4085 FAX 03-3296-4086

E-mail history@mics.meiji.ac.jp